

 enokojima creates osaka enoco 大阪府立 江之子島文化芸術創造センター	enocoについて ABOUT ▼	フロアガイド FLOOR GUIDE ▼	enocoのつかいかた HOW TO USE ▼	空き状況 AVAILABILITY ▼	アクセス ACCESS ▼	プラットフォーム 形成支援事業 PLATFORM >
	クリエイティブルーム 入居者募集 CREATIVE ROOM ▼	サポーター募集 SUPPORTER ▼	メールニュース登録 MAIL NEWS ▼	Q & A Q&A ▼	お問い合わせ INQUIRY ▼	大阪府20世紀 美術コレクション COLLECTION >

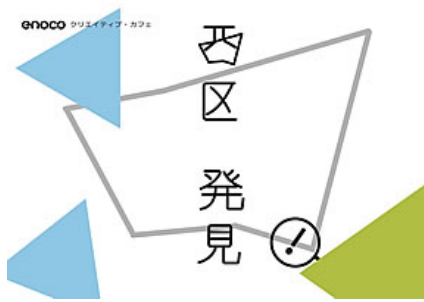
レクチャー 12.11

enoco クリエイティブ・カフェ「西区発見！」vol.7（最終回）

クロストーク：編集者がみる、西区という“まち”

[トップ](#) >> [アーカイブ](#) >> [enoco クリエイティブ・カフェ「西区発見！」vol.7（最終回）](#) 「クロストーク：編集者がみる、西区という“まち”」

このページの情報は、終了した事業に関するものです。



enocoが位置する江之子島は大阪市の西区にあります。かつて大阪府庁舎があったこの場所は、大阪の行政の中心地でした。そして安治川の河口につながる海の玄関口として、新しい文化やヒト・モノが集まり、近代大阪の発展を支えてきました。

戦後になって西区に張り巡らされていた堀川は埋め立てられ、まちの様相も大きく変化しましたが、現在も若者が集まる堀江や新町、緑溢れる靄公園、ディープな下町・九条など、西区は多様な魅力や文化を発信する場であり続けています。特に近年は人口増加が著しく、とりわけ若い世代の流入が目立っています。一体、人は西区の何に惹かれて、集まってくるのでしょうか。

日本の各都市に数多くある「西区」のなかで、大阪市西区は最古の「西区」だそうです。その歴史ある西区に昨年新しく仲間入りしたenocoでは「とにかく西区のことをもっとよく知りたい」と、歴史から現在進行形のまちづくりまで、西区の資源や魅力を多彩なゲストで「発見！」する毎月1回・全7回のトークシリーズを開催します。

いよいよ最終回。今回のテーマは、ずばり「西区」。日々まちを見つめ、まちで働き、まちで遊び、まちを愛する編集者3名による座談会スタイルで、西区という“まち”について語っていただきます。西区のあんなことこんなこと、ざっくばらんに話をします。

日時：12月11日（水）19:00～20:30（15分前より受付開始）

ゲスト（50音順）：竹内厚（Re:s）、藤本和剛（Meets Regional）、松村貴樹（IN/SECTS）

聞き手：高岡伸一（江之子島文化芸術創造センター/enoco）

定員：50名（事前申込不要／当日先着順受付）

場所：江之子島文化芸術創造センター地下1Fカフェスペース

主催：大阪府立江之子島文化芸術創造センター

ゲストプロフィール

竹内厚

1975年生まれ、編集者。情報誌『Lマガジン』休刊にともなって、京阪神エルマガジン社（西区）を退社して、Re:Siに所属。大阪、神戸、京都を動きながら編集、取材、執筆など。この10年の住まいは玉造→靄公園（西区）→天満橋。実家は城東区。

藤本和剛

1980年大阪生まれ。2003年大阪大学経済学部卒業、2003年（株）京阪神エルマガジン社（西区）入社、Meets Regional編集室。2008年より副編集長、現在に至る。

松村貴樹

1976年生まれ。雑誌「IN/SECTS」編集長。出身は京都府八幡市。21歳で単身渡米、ニューヨークで5年過ごす。帰国後、フリーランスを経てLLCインセクトを設立。2009年の春、「IN/SECTS Magazine」を創刊。2007年から2010年までの約3年間、西区立売堀在住。

※本シリーズは月1回のペースで開催し全7回の開催となり、今回がシリーズ最終回です。

サイトポリシー	> enocoについて	> クリエイティブルーム	> enocoのプロジェクト	Like 943	^
指定管理者	> フロアガイド	> サポーター募集	> enocoの学校	ツイート	
バナー広告募集	> enocoのつかい方	> メールニュース登録	> 大阪府20世紀コレクション		
プレスリリース	> 空き状況	> Q&A	> ライブラリー		
	> アクセス	> お問い合わせ	> サポーターものづくりルーム		
		> プラットフォーム 形成支援事業			